

J R 東海 労申第 6 号
2021 年 8 月 6 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 金子 慎 殿

J R 東海 労働組合
中央執行委員長 木下 和樹

リニア建設に伴う残土問題に関する申し入れ

7 月 14 日、長野県飯田市で「リニア中央新幹線建設促進長野県協議会」の本年度総会が開催された。この中で、リニア建設に伴う残土置き場の十分な安全確保などを J R 東海に求める決議を採択したとの報道がされた。決議にあたり J R 東海の古谷佳久担当部長は、静岡県熱海市伊豆山地区に於いて、大規模な土砂災害が発生したことに触れ「リニア建設に伴う残土の処分地は、排水設備など安全性の確保にしっかりと努める」と説明した。しかし、安全の具体策は示されていない。

従って、リニア建設に伴う残土問題について、下記の通り申し入れるので、団体交渉を開催すること。

記

1. 品川～名古屋間の工事で発生する残土の総量、置き場の決まっている残土の割合と、残土置き場別の量を明らかにすること。また、未定箇所今後の計画について明らかにすること。
2. 熱海での大規模な土砂災害が発生したことを受けて、リニア工事の残土による安全対策を明らかにすること。
3. 建設促進協議会で会社は「リニア工事で発生する残土の処分について安全は十分確保されている」と見解を示しているが、その根拠を明らかにすること。
4. 残土処理現場に残土を持ち込む方法や、それに伴う地元住民への影響を明らかにすること。
5. 残土処理現場開発に伴う貴重植物や鳥類に対する影響が発生しないのか明らかにすること。
6. 残土には、ヒ素や重金属、ウランなどが含まれている可能性が指摘されているが、その対策について明らかにすること。

7. 相模原市緑区に牛の農場計画があるが、この場所にリニア工事で発生した残土を使用するのかを明らかにすること。

8. リニア建設に伴う残土処理等リニア建設に伴う問題は、労働組合に明らかにし、労使協議を開催すること。

以 上